



津山開花宣言

津山市第5次総合計画 前期実施計画

平成28年度～平成31年度



津山市



津山市民憲章

わたくしたちは、長い歴史と伝統をもち、豊かな自然にめぐまれた津山の市民です。わたくしたちは、愛する津山を明るい豊かな住みよいまちにするために、みんなで話しあい、たがいに励ましあい、手をとりあって進みます。

1. まちをきれいにし、緑あふれる清潔な環境をととのえましょう。
2. からだをきたえ、元気で働き、明るい家庭をきずきましょう。
3. 伝統を生かし、創造性をつちかい、文化の向上につとめましょう。
4. こどもを愛し、青少年の夢と希望をはぐくみ、豊かな未来をひらきましょう。
5. すすんできまりを守り、みんなのしあわせを願う広い心を育てましょう。

昭和 46 年 8 月 26 日制定

A stylized map of Tsuyama City is shown in a light yellow color, set against a larger yellow circular background that occupies the right half of the page. The map shows the city's irregular coastline and internal district boundaries.

津山市第5次総合計画 前期実施計画

平成28年度～平成31年度

目次

1	前期実施計画の策定について	2
---	---------------	---

2	総合計画の体系	4
---	---------	---

3	主要事業	6
---	------	---

参 考 資 料

これからの財政予測	24
行財政改革の取組み	26
成果指標・目標値	27

1 第5次総合計画と前期実施計画について

第5次総合計画は、「基本構想」「基本計画」及び「実施計画」により構成され、基本構想が、計画の目標年次におけるまちづくりのビジョンを示すのに対して、基本計画は、示されためざすまちの姿の実現を図るための基本的な施策を分野別に示したものであり、実施計画の指針となるものです。

実施計画は、基本的な施策における事業内容を年度別に明示し、毎年度の予算編成の具体的な指針となるもので、基本構想、基本計画が、平成28年度を初年度とする10年間の構想・計画であるのに対して、実施計画は、前期・中期・後期の3期に分けて計画策定を行います。

前期実施計画は、厳しい財政状況の中、本市が抱える様々な課題に対して正面から取り組み、また、「彩りあふれる花開く 津山の創造」を具現化できるよう、平成28年度から平成31年度までの4年間に実施を予定する主要事業を取りまとめています。

総合計画の体系

基本構想

H28～H37の10年間
まちづくりを進めるための基本方針を示します。

基本計画

H28～H37の10年間
基本構想を実現するための基本方針、施策の方向を示します。

実施計画

前期計画
(H28～H31)

中期計画
(H32～H34)

後期計画
(H35～H37)

基本計画で示された施策を実現するための主要事業及び実施年度を示します。



2 前期実施計画の期間

第5次総合計画期間（平成28年度～平成37年度）のうち、前期実施計画は、平成28年度から平成31年度までの4か年とします。

3 前期実施計画の範囲

前期実施計画の範囲は、基本計画をベースとし、本市が実施主体となって推進する事務事業及び国、県、民間等が実施主体となって本市が事業費を負担する事務事業とします。

4 前期実施計画の策定方針

前期実施計画は、第5次総合計画の基本構想で定められる「彩りあふれる花開く 津山の創造 ～市民一人ひとりの想いがかなう 夢と希望の花が咲き誇るまち～」の実現に向けて、「基本計画」において定めた施策を着実に推進するために、開花プログラム及び開花プログラムの推進方策ごとに、具体的な事業を年次的に示します。

また、本格的な人口減少社会が到来する中、これからの10年間は、子や孫の世代に引き継ぐべき誇りあるまちを創っていく大切な期間になります。人口減少克服・地方創生への好循環を生み出すため「津山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を行動計画として、前期実施計画期間中に集中的に取り組みます。

具体的には、結婚・妊娠・出産から子育て、就業に至るまでのトータルな子育て支援に取り組むことはもとより、強い地場産業の創出や働く場の確保、移住・定住の促進、魅力ある教育・生涯学習施設の充実、誇りを持てる地域づくりなどに取り組みます。

さらに、本市の特色である歴史・文化・芸術を活かしたまちづくり、駅周辺や中心市街地の賑わい創出など、重点的な取組が必要な事業について、一層の事業推進を図ります。

これらの事業採択にあたっては、財政計画との整合を図りながら、選択と集中の考え方のもとに、事業評価を実施し判断を行っています。

今後、新たな発想・視点での事務事業の見直しに取り組むなど行財政改革を推進し、未来に向かって、市民一人ひとりが可能性を見出し、夢と希望を持って、それぞれの思いを実現させることができる、誰もが憧れるようなまちを創っていくため全力で取り組みます。

2

総合計画の体系

○基本理念（めざすまちの姿）

彩りあふれる花開く 津山の創造

～市民一人ひとりの想いがかなう 夢と希望の花が咲き誇るまち～

開花プログラム	中分類	小分類
開花プログラムⅠ 子育て環境の充実と人と文化を育むまちづくり	1 子どもが健やかに育つために	1 妊娠・出産支援の充実 2 乳幼児保健の充実 3 幼児教育・保育の充実 4 子育て支援の充実
	2 次代を担う子どものために	1 義務教育の充実 2 教育環境の充実 3 高等教育機関との連携 4 家庭・地域の教育力の充実 5 青少年の健全育成
	3 心も体も元気であるために	1 生涯学習の推進 2 スポーツ活動の充実 3 芸術・文化活動の充実 4 国際交流・地域間交流の推進
	4 歴史・文化を守り伝えるために	1 歴史文化の継承と文化財の保存・活用
開花プログラムⅡ 健やかで安心できる支え合いのまちづくり	1 誰もが健康で暮らせるために	1 医療体制の充実 2 健康づくりの推進
	2 支え合いのまちをつくるために	1 地域福祉の充実 2 高齢者福祉の充実 3 障害者福祉の充実 4 低所得者福祉の充実 5 国民健康保険事業の充実強化 6 人権尊重・平和施策の推進と男女共同参画社会の実現
	3 市民が主役のまちをつくるために	1 地域活動の推進と地域力の強化
開花プログラムⅢ 雇用の創出とにぎわいのあるまちづくり	1 経済を発展させ働く場を維持するために	1 商業の振興と中心市街地の活性化 2 雇用の創出と定住推進 3 工業の振興
	2 ずっと続けていける農林水産業のために	1 農業の振興 2 林業の振興 3 農林業の高付加価値化 4 水産業の振興
	3 魅力発信できるまちになるために	1 観光の振興



開花プログラム	中分類	小分類
開花プログラムⅣ 豊かな自然環境の保全と快適に暮らせるまちづくり	1 豊かな環境を次世代に残すために	1 低炭素都市の実現 2 循環型社会の実現
	2 心地よく生活するために	1 生活環境の保全 2 公園整備と緑地保全 3 水道の安定供給 4 下水道の整備
開花プログラムⅤ 災害への備えと都市機能の充実したまちづくり	1 快適な都市環境をつくるために	1 自然と調和した都市整備 2 交通基盤の整備 3 公共交通網の充実 4 歴史まちづくりと景観の保全 5 居住環境の整備
	2 災害に強くなるために	1 防災体制の充実と防災意識の啓発 2 災害予防と減災の推進
	3 安心して暮らせるために	1 防犯対策と消費者保護 2 交通安全対策の推進 3 演習場対策
開花プログラムの推進方策	1 効率的な市政を推進するために	1 共創・協働の推進 2 津山の魅力発信 3 行財政改革と情報化の推進
	2 圏域の一体的な発展のために	1 広域連携の推進

3

主要事業

前期実施計画期間中に実施予定の主要事業について、第5次総合計画の開花プログラムごとに件数、事業費及び一般財源の見込額を示しています。これらの額は、前期実施計画期間中（平成28年度～平成31年度）の事業費枠を示したものであり、実際の事業費は、各年度の予算において決定されます。

また、個別の事業名、事業内容、実施年度については、開花プログラムごとに次表以降に記載していますが、財政状況や事業を取り巻く状況の変化により変更される場合があります。

原則として、ハード事業については全体事業費が1千万円以上、ソフト事業については単年事業費が百万円以上を対象としています。

また、開花プログラムの分類ごとに設けた10年後の「成果指標」の達成に向けて、前期実施計画を推進します。

○計画事業費の集計（開花プログラム別）

（単位：百万円）

区 分	件数	平成28年度～平成31年度	
		事業費	一般財源
I 子育て環境の充実と人と文化を育むまちづくり	51	15,705	3,368
II 健やかで安心できる支え合いのまちづくり	16	1,059	485
III 雇用の創出とにぎわいのあるまちづくり	44	4,312	1,909
IV 豊かな自然環境の保全と快適に暮らせるまちづくり	30	15,179	1,339
V 災害への備えと都市機能の充実したまちづくり	61	8,551	1,375
開花プログラムの推進方策	4	1,002	114
合 計	206	45,808	8,590

○計画事業費の財源内訳（平成28年度～平成31年度）

（単位：百万円）

総事業費	国・県支出金等	起債	一般財源
45,808	13,316	23,902	8,590

※上記には、一般会計の主要事業のほか、下水道事業会計、水道事業会計を含みます。



開花プログラムⅠ 子育て環境の充実と人と文化を育むまちづくり

事業名	事業概要	28年度	29年度	30年度	31年度
子育て世代包括支援事業（子育て世代包括支援センター設置・運営）	子育て支援のためのワンストップ拠点（子育て世代包括支援センター）を設置	○	○	○	○
不妊治療支援事業	不妊治療費用の助成	○	○	○	○
不育治療支援事業	不育治療費用の助成	○	○	○	○
授乳室等整備事業補助金	ベビーベッドや授乳スペースなどの施設や設備を整備する店舗などに対する補助	○	○	○	○
幼児・児童・生徒のインフルエンザ予防接種費用一部助成事業	幼児・児童・生徒に対するインフルエンザ予防接種費用助成	○	○	○	○
幼稚園再構築施設整備事業	公立幼稚園の再構築に伴う新設園2園の整備	○	○	○	○
保育所移転施設整備事業	一宮保育所老朽化による新築移転	○	○		
認定こども園施設整備事業	認定こども園を設置するための施設改修		○	○	○
民間教育・保育施設整備補助事業	民間の教育・保育施設（保育園・幼稚園・認定こども園）の改築などに対する補助		○	○	○
民間教育・保育施設特別保育事業	民間事業者による延長保育、障害児保育、食育推進事業の実施に対する補助	○	○	○	○
まちなか子育て支援拠点事業	中心市街地に乳幼児及び保護者が相互の交流を行う場所の開設及び子育て支援体制の整備	○	○	○	○
地域子育て支援センター事業	地域子育て支援センターの運営	○	○	○	○
一時預かり事業	保育園、幼稚園などで一時的に児童を預かる事業の運営及び補助	○	○	○	○
放課後児童健全育成事業（ハード）	放課後児童クラブ施設の整備	○	○	○	○
放課後児童健全育成事業（ソフト）	放課後児童クラブの運営体制や育成支援の充実	○	○	○	○

事業名	事業概要	28年度	29年度	30年度	31年度
子どもの貧困対策事業	「子供の貧困対策に関する大綱」を踏まえた、子どもの貧困対策の総合的推進	○	○	○	○
多子世帯における教育・保育施設利用者負担軽減事業	最年長児の年齢要件を撤廃し、所得制限を設けず、第3子以降の保育料を無償化	○	○	○	○
子ども医療費公費負担制度	子どもにかかる医療費の助成	○	○	○	○
病児保育事業（病児対応型）	病気で集団保育が困難な期間に、病院などで行う保育及び看護に対する補助	○	○	○	○
保育士養成委託事業	実務経験の必要な保育士資格取得希望者の雇用を民間保育園に委託	○	○	○	○
教育振興基本計画策定事業	平成29年度～平成33年度を計画期間とする教育振興基本計画の策定	○			
学校ICT環境整備事業	小中学校の学習環境・教育基盤のICT整備	○	○	○	○
確かな学力向上対策事業	小中学校の学力向上対策	○	○	○	○
生徒指導・不登校対策事業	小中学校の生徒指導・不登校対策	○	○	○	○
特別支援学級サポート事業	特別支援学級への非常勤講師配置	○	○	○	○
小中学校施設整備事業	老朽化した小中学校施設の更新及び空調設備の新設	○	○	○	○
安全安心対策事業	小中学校のフェンス、防犯カメラの設置	○	○	○	○
奨学金を活用した大学生等の津山市定着促進事業	津山圏域内企業などへ就職し、市内に定住する大学生などの奨学金の返還金に対する補助	○	○	○	○
鶴山塾建替事業	鶴山塾の移転・新築及び現施設の撤去			○	○
公民館施設整備事業	老朽化した公民館の改築及び改修	○	○	○	○

事業名	事業概要	28年度	29年度	30年度	31年度
加茂町スポーツセンター「加茂町B&G海洋センター」体育館改修事業	加茂町B&G海洋センター体育館改修				○
勝北総合スポーツ公園野球場改修事業	野球場の防球ネットの設置や球場全体の安全ラバーの更新		○		
スポーツ振興基本計画策定	平成30年度からのスポーツ振興基本計画の策定		○		
津山スポーツセンター野球場整備事業	津山スポーツセンター野球場整備	○			
合宿誘致宿泊費助成事業	サッカー・ラグビー場を利用し市内に宿泊する者への宿泊費助成	○	○		
スポーツ大会開催運営費補助事業	市内体育施設を主会場とする大規模なスポーツ大会への開催運営費補助	○	○		
美術館・博物館整備事業	市立美術館・博物館の整備	○	○	○	○
津山文化センター大規模改修事業	津山文化センターの施設・設備の大規模改修	○	○	○	○
津山国際総合音楽祭	津山国際総合音楽祭の開催に対する補助	○	○		
友好交流都市サンタフェ市への訪問団派遣事業	友好交流都市サンタフェへの市民交流の支援		○		○
旧洋学資料館活用事業	旧妹尾銀行林田支店の活用整備		○	○	○
知新館活用事業	知新館の活用整備		○	○	○
史跡津山城跡保存整備事業	史跡津山城跡保存整備計画（第Ⅱ期）に基づく保存整備	○	○	○	○
史跡美作国分寺跡保存整備事業	史跡美作国分寺跡の保存整備	○	○	○	○
苅田家住宅・酒造場 指定文化財保存整備事業	苅田家住宅・酒造場の保存整備	○	○	○	○

事業名	事業概要	28年度	29年度	30年度	31年度
指定文化財保存修理事業	国・県・市指定文化財の保存修理事業への助成	○	○	○	○
歴史文化基本構想策定事業	地域文化財のマスタープラン策定	○	○	○	
岩屋城跡総合調査事業	国指定申請に向けた県史跡岩屋城跡の総合調査	○	○	○	○
市史編さん事業	新津山市史の編さん・刊行	○	○	○	○
京橋門跡公園整備事業	京橋門一帯の史跡公園整備	○	○		
登録有形文化財 旧津山市庁舎 改修整備事業	旧津山市庁舎（郷土博物館）の耐震診断及び改修	○			



開花プログラムⅡ 健やかで安心できる支え合いのまちづくり

事業名	事業概要	28年度	29年度	30年度	31年度
「陽子線治療センター」事業運営補助金	「陽子線治療センター」事業運営に対する補助	○	○	○	○
高齢者肺炎球菌ワクチン接種事業	高齢者の肺炎球菌ワクチン接種料金の助成	○	○	○	○
歯周疾患検診事業	40歳、50歳、60歳、70歳を対象に口腔内検査、歯周組織検査及び指導	○	○	○	○
民間福祉関係団体育成事業	社会福祉事業を行う施設の修繕費用に対する助成	○		○	
地域包括支援センター設置・運営事業	地域包括支援センターの運営	○	○	○	○
在宅医療・介護連携推進事業	在宅医療・介護連携推進事業の実施	○	○	○	○
障害者計画・障害福祉計画策定事業	津山市障害者計画・津山市障害福祉計画の策定		○		
男女共同参画推進事業	男女共同参画社会の実現に向けた施策の推進	○	○	○	○
町内会集会所施設整備費補助事業	町内会の集会所整備に対する補助	○	○	○	○
「共創・協働の地域づくり応援事業」Ⅰ．協働推進事業（ソフト）	公募提案型協働事業など市民活動の支援	○	○	○	○
「共創・協働の地域づくり応援事業」Ⅱ．地域づくり応援事業	住民自治協議会への支援	○	○	○	○
「共創・協働の地域づくり応援事業」Ⅲ．地域おこし協力隊事業	地域おこし協力隊員の派遣	○	○	○	○
「共創・協働の地域づくり応援事業」Ⅳ．域学（地域と大学等）連携事業	大学や高等学校が地域と連携して取り組む活動の支援	○	○	○	○
「共創・協働の地域づくり応援事業」Ⅴ．小さな拠点（地域再生拠点）整備・運営事業	小さな拠点の施設整備、運営に対する支援	○	○	○	○
農産物加工施設整備事業	阿波小学校跡地への農産加工施設の整備	○			
農山村サテライトオフィス等誘致事業	中山間地域の空き家及び支所などの空きスペースを活用したサテライトオフィスの誘致	○	○	○	○

開花プログラムⅢ 雇用の創出とにぎわいのあるまちづくり

事業名	事業概要	28年度	29年度	30年度	31年度
城下地区にぎわい再生事業	新津山国際ホテルへの「暮らし・にぎわい再生事業」の制度に沿った支援	○	○	○	
まちなかシネマ賑わい創出事業	ペルフォーレ津山を活用した映画の常設上映支援	○	○		
商業振興事業	中心市街地などの賑わいの創出を図るための新規出店への補助	○	○	○	○
まちづくり活動推進事業	まちづくりコーディネーターによるまちづくり活動支援	○	○	○	○
IJU（いじゅう）トータルサポート事業	IJUターンを促すための各種サポート支援	○	○	○	○
新規学卒者地域内就職応援事業	新規学卒者の津山地域内企業への就職促進支援	○	○	○	○
市内工業団地等環境整備事業	工業団地の環境整備	○	○	○	○
市内公的団地への企業誘致促進事業	未分譲地への企業誘致の推進	○	○	○	○
出会い・結婚サポート事業	未婚者の結婚意欲向上セミナーや婚活イベント・縁結びサポーターの育成などの婚活支援		○	○	○
つやま産業支援センター戦略的企業サポート事業	つやま産業支援センター運営及び戦略的企業サポート	○	○	○	○
ロボット産業における先進地化事業	小中高生、大学生を対象としたロボコンの充実拡大	○	○	○	○
環境保全型農業直接支援対策事業	環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者に対する交付金支援	○	○	○	○
中山間地域直接支払交付金事業	中山間地域の農業振興のため直払交付金を活用した事業	○	○	○	○
人・農地プラン基盤強化事業	新規就農希望者の研修・就農に対する助成、集落営農組織の法人化の促進	○	○	○	○
農道保全対策事業	県事業による作州街道・やまなみ街道・山根矢谷線の舗装及び橋梁補修など	○	○	○	○

事業名	事業概要	28年度	29年度	30年度	31年度
農地整備事業（中山間地域型）	県事業によるほ場などの整備	○	○	○	○
基幹水利保全事業（ストックマネジメント）	県事業による機能保全計画に基づく用排水路、ダムなどの改修	○	○	○	○
小規模ため池補強事業	小規模ため池の改修	○	○	○	○
多面的機能支払交付金事業	農地・農業用施設の保全管理活動、長寿命化を図る補修などを行う地元組織への交付金	○	○	○	○
現場技能者育成事業	森林関係に携わる技能者の育成事業に対する助成	○	○	○	○
生活・里山・森づくりアダプト事業	地域住民・団体による里山整備などへの支援	○	○	○	○
Jークレジット活用少花粉スギ等導入事業	Jークレジットの売却資金を充当して少花粉スギなどを植林する事業	○	○	○	○
搬出間伐促進事業	間伐材の搬出費用の一部に対する助成	○	○	○	○
市有林・市行造林・跡地造林整備事業	森づくり基本計画に基づき、市有林・市行造林や官行・県行造林の施業	○	○	○	○
基幹林道因美線開設事業	加茂町知和から鳥取県智頭町に至る森林基幹道因美線の開設	○	○	○	○
林道橋補修事業	林道橋保全計画に基づく補修	○	○	○	○
農作物鳥獣害防止対策事業	有害鳥獣農作物被害防護柵の設置に対する助成	○	○	○	○
有害鳥獣駆除事業	農林作物の保護を目的とする有害鳥獣駆除活動に対する助成	○	○	○	○
林業専用道整備事業（阿波地区）	阿波地区の林業専用道の開設		○	○	○
地域農畜産物活用推進事業	地域農畜産物を活用した産学官民連携による商品開発、販路開拓、情報発信	○	○	○	○

事業名	事業概要	28年度	29年度	30年度	31年度
つやま和牛ブランド事業	つやま和牛の生産振興とブランド化の推進	○	○	○	○
「津山のほほえみ（津山産小麦粉）」ブランド化事業	「津山のほほえみ（津山産小麦粉）」のブランド化	○	○	○	○
バイオマス産業都市構想推進事業	「津山市バイオマス産業都市構想」に基づいた事業の実施	○	○	○	○
木材需要拡大事業	美作材の需要拡大を図り、J A S 認定製材に必要な費用の一部を助成	○	○	○	○
美作材輸出促進事業	「美作材輸出戦略プラン」に基づく計画的な事業促進	○	○	○	○
地域材利用促進事業	地域材を利用する住宅への各種助成	○	○	○	○
内水面漁業創造事業に係る調査研究事業	放流から養殖への移行を促すための調査研究	○	○	○	○
誘客拠点の魅力づくり推進事業	観光誘客拠点の魅力アップの推進	○	○	○	○
地域発観光支援事業	観光素材のブラッシュアップ及び回遊性向上	○	○	○	○
観光情報発信強化事業	県内外への効果的な観光情報の発信	○	○	○	○
広域観光連携推進事業	他市町村、民間事業者と連携した観光事業の推進		○	○	○
外国人観光客の誘致促進事業	外国人観光客の誘致に向けた受入体制の充実	○	○	○	○
おもてなしの心による受入体制整備事業	観光ボランティアガイド活動支援、人材発掘・育成による観光受入体制の整備	○	○	○	○
デスティネーションキャンペーンによる観光地づくり事業	平成28年開催のデスティネーションキャンペーンを活用した津山市の魅力発信	○			

開花プログラムⅣ 豊かな自然環境の保全と快適に暮らせるまちづくり

事業名	事業概要	28年度	29年度	30年度	31年度
グリーンニューディール基金事業（避難所への再生可能エネルギー等導入）	避難施設への太陽光パネル、蓄電池などの設置	○			
超小型モビリティ導入実証事業	超小型電気自動車の実証実験及び普及啓発など	○	○	○	○
津山版クレジットによるカーボンオフセット事業	二酸化炭素の排出権を地域産品に付与し、環境貢献商品を販売	○	○	○	○
地球温暖化対策地域推進計画改定事業	津山市地球温暖化対策地域推進計画改定及び温暖化対策に関する啓発	○	○	○	○
加茂郷エネルギーパーク構想推進事業	加茂郷におけるエネルギーと経済の循環モデルの確立	○	○	○	○
低炭素都市つやまスマートエネルギー導入応援事業	太陽光パネルなどの導入経費の補助	○	○	○	○
新クリーンセンター周辺対策事業	新クリーンセンターの周辺地域における対策事業	○	○	○	○
一般廃棄物処理基本計画策定事業	廃掃法で規定する一般廃棄物処理基本計画の策定	○			
資源回収拠点整備事業	青空リサイクルプラザの運営と、常設の資源回収拠点の拡充	○	○	○	○
旧津山圏域西部衛生施設組合ごみ焼却施設解体撤去事業	新クリーンセンター稼働に伴い閉鎖する西部衛生施設組合の焼却施設の解体撤去	○	○		
津山圏域衛生処理センター施設更新事業	し尿処理場（汚泥再生処理センター）施設更新整備	○	○	○	○
津山圏域衛生処理センター周辺環境整備事業	津山圏域衛生処理センター施設更新に伴う進入路整備	○			
ごみ焼却施設解体撤去及び環境整備事業	旧焼却施設の解体撤去及び環境整備事業	○	○	○	○
一般廃棄物最終処分場周辺環境整備事業	最終処分場跡地と周辺の環境整備事業	○	○	○	○
総合斎場周辺整備事業	総合斎場周辺の道路改良などの整備	○	○	○	○

事業名	事業概要	28年度	29年度	30年度	31年度
空家の適正管理推進事業	国の空家法に基づく対策計画策定及び除却補助等適正管理の推進	○	○	○	○
黒木キャンプ場及び黒木ダム親水公園再整備事業	黒木キャンプ場及び親水公園の改修整備	○	○	○	○
史跡津山城跡「鶴山公園」景観整備事業	史跡及び観光拠点施設としての景観整備	○	○	○	○
公園施設機能向上安全安心事業	公園施設の機能向上	○	○	○	○
簡易水道上水道統合事業	簡易水道事業を上水道事業を統合することに伴う工事	○	○	○	
水道事業ビジョン策定事業	事業経営指針の策定		○		
水道施設更新・耐震化事業	ポンプ室などの耐震化及び計装機械設備の更新	○	○	○	○
老朽管更新・耐震化事業	老朽管路の更新及び耐震化	○	○	○	○
緊急給水拠点確保事業	配水池の耐震化及び緊急遮断弁の設置	○	○	○	○
小田中浄水場設備等更新事業	小田中浄水場老朽設備の更新	○			○
草加部浄水場設備等更新事業	草加部浄水場老朽設備（加茂川合同堰を含む）の更新	○	○	○	○
公共下水道事業	公共下水道施設の整備	○	○	○	○
農業集落排水事業	農業集落排水施設の機能強化に向けた最適整備構想の策定及び施設の改築更新	○	○	○	○
合併処理浄化槽設置整備事業	合併処理浄化槽の設置補助	○	○	○	○
地方公営企業会計移行事業（公共下水道事業・農業集落排水事業）	下水道事業会計を公営企業会計へ移行	○	○		

開花プログラムⅤ 災害への備えと都市機能の充実したまちづくり

事業名	事業概要	28年度	29年度	30年度	31年度
津山駅周辺整備事業 (都市再生1～2期)	駅北口広場、南北自由通路、駅南口広場の整備	○	○	○	○
津山駅舎バリアフリー整備事業 負担金	津山駅舎のバリアフリー整備に対する市負担金		○	○	○
都市計画マスタープラン関連事業	都市計画マスタープランなどの策定	○	○	○	
立地適正化計画策定事業	ネットワーク型コンパクトシティの実現に向けた立地適正化計画の策定	○	○	○	
立地適正化計画関連事業	立地適正化計画に基づく都市機能などの誘導施策及び施設整備		○	○	○
中心市街地都市再生整備事業 (第1期)	中心市街地の活性化に資する施設整備など	○			
中心市街地都市再生整備事業 (第2期)	中心市街地の活性化に資する施設整備など		○	○	○
県営道路事業等負担金	県が実施する道路の改築、急傾斜地崩壊対策事業の市負担金	○	○	○	○
県営街路事業負担金 (林田小原線)	県営街路事業の市負担金	○	○		
県営街路事業負担金 (河辺高野山西線)	県営街路事業の市負担金	○	○	○	○
除雪機械整備事業	除雪トラック(4t)の整備		○		
道路新設改良事業(単市)	生活道路の整備	○	○	○	○
道路施設長寿命化事業	橋梁などの老朽化が進む道路施設の点検・修繕・計画策定	○	○	○	○
(都)総社川崎線(沼・林田工区) 道路新設事業	道路新設 L=460m W=14.00～18.00m	○	○		
神庭N66号線道路改良事業	道路改良 L=2,900m W=7.50～9.25m	○	○	○	○

事業名	事業概要	28年度	29年度	30年度	31年度
院庄 F 59号線視距改良事業	視距改良 L=100m W=5.00m	○	○		
福岡 H 43号線道路改良事業	道路改良 L=900m W=11.00m	○	○	○	○
中学校線（X3040号線）歩道整備事業	歩道整備 L=85m W=2.50m	○	○		
勝部川崎線（1014号線）道路改良事業	道路改良 L=800m W=9.25m	○	○	○	○
西苫田 C 144号線交差点改良事業	交差点改良 L=45m W=6.50m	○	○		
坂上原線（1058号線）道路改良事業	道路改良 L=210m W=10.25m				○
西加茂87号線道路改良事業	道路改良 L=210m W=7.00m	○	○	○	
拠点線（Q298号線）道路新設事業（河辺・押入地区都市再生1期）	津山中央病院へのアクセス道路の新設	○			
（都）総社川崎線（山北工区）道路新設事業	道路新設 L=480m W=19.00～30.00m	○	○	○	○
（都）平福横山線（大谷～井口工区）道路新設事業	道路新設 L=900m W=18.00m				○
安岡町押入線（1006号線）道路改良事業	道路改良 L=133m W=12.00m	○	○	○	○
青木線（X2030号線）橋梁改良事業	橋梁改良 L=13.90m W=4.00m	○			
（都）河辺高野山西線関連事業（河辺・押入地区都市再生1～2期）	県営街路事業に伴う市道改良・水路改良	○	○	○	○
津山南道路関連事業	津山南道路整備に伴う市道改良・水路改良・橋梁改修	○	○	○	○
道整備交付金事業	地域の道路ネットワークの強化	○	○	○	○

事業名	事業概要	28年度	29年度	30年度	31年度
公共交通網形成計画及び公共交通利便性向上・利用促進事業	公共交通網形成計画の策定及び公共交通の整備、利用促進	○	○	○	○
伝統的建造物群保存地区保存事業（城東重伝建地区）	城東重伝建地区の伝統的建造物などの修理修景	○	○	○	○
重伝建地区防災計画策定事業（城東地区）	城東重伝建地区の町並保存と地域の安全確保のための計画策定と防災設備などの整備	○	○	○	○
津山城下町歴史館整備事業（旧田淵邸）	文化財だんじりや田町奴、武家屋敷資料などの展示館整備	○			
城東地区観光駐車場整備事業	城東地区の観光駐車場の整備及び利便性の向上		○	○	○
城下町町並保存対策事業（城西地区・武家地地区）	城西地区及び武家地地区における歴史的建造物の修理修景	○	○	○	○
苅田家町家群整備事業	城東重伝建地区の核施設としての苅田家町家群の保存活用	○	○	○	
歴史的風致維持向上事業（城東周辺地区）	城東地区の道路美装化など	○	○	○	○
歴史的風致維持向上事業（城西周辺地区）	城西地区の道路美装化など	○	○		
公営住宅整備事業	市営住宅の建替え		○		○
住宅・建築物耐震診断事業	住宅建築物の耐震診断費用の補助	○	○	○	○
アスベスト改修促進事業	吹付アスベストの分析調査及び除去など費用の補助	○	○	○	○
木造住宅耐震改修事業	木造在来工法住宅の耐震改修工事など費用の補助	○	○	○	○
防災無線による災害時情報伝達手段の整備事業	加茂地域防災行政無線をデジタル化更新	○			
緊急告知防災ラジオ設置事業	旧津山地域における防災ラジオ機器購入費の助成	○	○	○	○

事業名	事業概要	28年度	29年度	30年度	31年度
安全安心まちづくり防災事業 (防災力の強化)	防災ハザードマップの作成		○		
自主防災組織活動支援事業	地域防災力充実のための組織活動支援	○	○	○	○
消防団施設・装備の整備事業	消防団の施設・設備の更新	○	○	○	○
消防庁舎建設事業	分署、出張所、救急ワークステーションの建設	○	○	○	○
高規格救急車整備事業	各署所配備車両の更新、救急ワークステーションへの配備	○	○	○	○
消防ポンプ車整備事業	各署所配備車両の更新	○	○	○	○
特殊車両整備事業	梯子車、化学車の更新配備	○	○	○	
農地防災事業（農業用河川工作物応急対策）	県事業による河川区域内の農業用施設の改修	○			
県営ため池等整備事業	県事業によるため池の改修	○	○	○	○
県営用排水施設整備事業	県事業による用排水施設の改修	○	○	○	○
震災対策農業水利施設整備事業	防災重点ため池を中心とした、ため池のハザードマップの作成		○	○	○
防犯灯設置費補助事業	町内会が新規に設置又は老朽化などにより更新する防犯灯設置費の助成	○	○	○	○
防犯カメラ設置費補助事業	町内会などが新規に設置する防犯カメラ設置費の助成	○	○	○	
交通安全施設整備事業（単市）	ガードレール、カーブミラー、区画線、道路照明などの交通安全施設整備	○	○	○	○
日本原演習場周辺日本原大吉線改良事業	道路改良 L=780m W=9.25m	○	○	○	○
特定防衛施設周辺整備調整交付金事業	道路・水路など公共用施設の整備	○	○	○	○

開花プログラムの推進方策

事業名	事業概要	28年度	29年度	30年度	31年度
シティプロモーション推進事業	津山の魅力を戦略的に市外へPRするプロモーション活動	○	○	○	○
津山市制90周年記念式典事業	市制施行90周年記念式典の開催			○	○
地域高速通信環境の整備事業	高速通信に対応する環境整備	○	○	○	○
庁舎耐震化事業	本庁舎及び東庁舎の耐震化・長寿命化改修工事	○	○	○	



参 考 資 料



これからの財政予測

○普通会計（一般財源ベース）における歳入歳出の推計

《歳入の内訳》

（単位：百万円）

区 分	決算実績	決算見込	推 計			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
市 税	13,049	12,500	12,601	12,656	12,450	12,467
地方交付税	12,717	12,575	12,519	12,435	12,490	12,253
その他	6,511	5,019	4,664	4,665	4,710	4,752
合 計	32,277	30,094	29,784	29,756	29,650	29,472

《歳出の内訳》

（単位：百万円）

区 分	決算実績	決算見込	推 計			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
義務的経費	15,248	15,593	16,001	16,023	16,181	16,163
消費的経費	7,639	8,095	7,850	7,789	7,918	8,018
投資的経費	1,555	1,455	920	920	940	940
その他	6,317	5,481	5,386	5,297	5,183	5,045
合 計	30,759	30,624	30,157	30,029	30,222	30,166

※義務的経費・・・人件費、公債費、扶助費

※消費的経費・・・物件費、維持補修費、補助費等

※投資的経費・・・普通建設事業費、災害復旧事業費

《財源過不足額》

（単位：百万円）

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
過不足額 （歳入－歳出）	△ 373	△ 273	△ 572	△ 694

○主な財政指標の推移

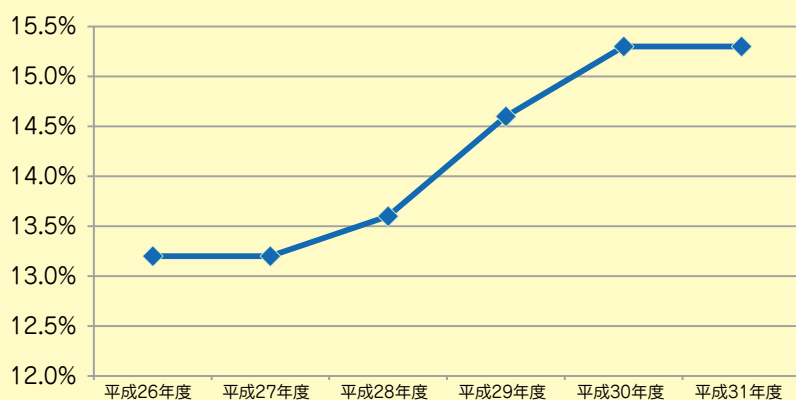
(単位：%)

区 分	決算実績	決算見込	推 計			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
実質公債費比率 (3か年平均)	13.2	13.2	13.6	14.6	15.3	15.3
経常収支比率	91.5	90.7	89.5	88.6	88.8	87.9

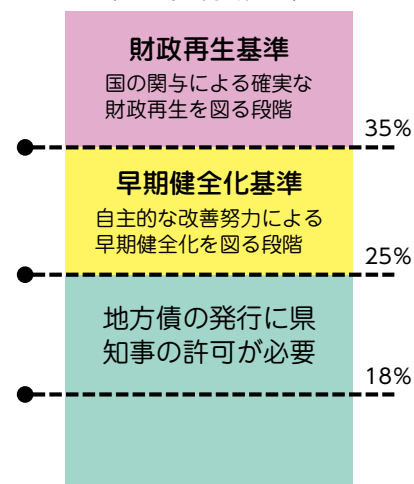
※実質公債費比率・・・自治体の標準的な財政規模に対して、地方債の元利償還金に使われる一般財源の額が、どの程度占めるかを示す指標。この率が18%以上になると、地方債の発行にあたり県の許可が必要となります。

※経常収支比率・・・財政構造の弾力性（ゆとり）を表す指標。市税や普通交付税などの毎年経常的に収入されるお金が、経常的に支出される経費にどのくらい使われているかを表します。この率が低いほど、建設事業などの経費に使える財源が増えることになります。

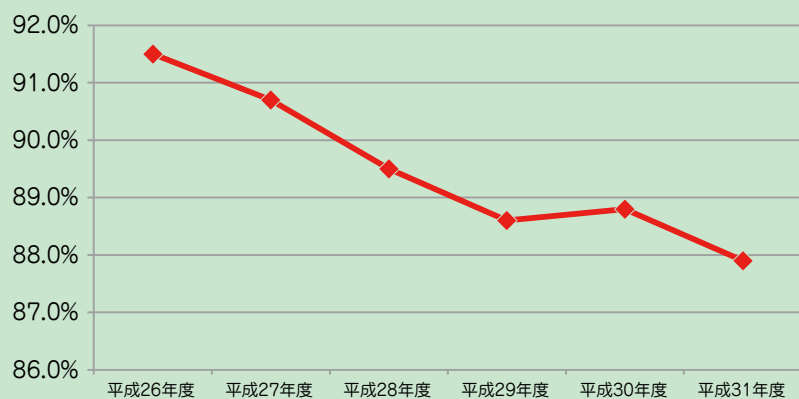
実質公債費比率の推移



実質公債費比率の健全化判断基準



経常収支比率の推移



行財政改革の取組

行財政改革は、第9次行財政改革大綱を定め、平成22年度から平成27年度までの6年間、中長期的な視点に立った改革を進めてきました。行財政改革効果額、重点目標である職員数の削減、市税収納率の向上については、目標を上回る成果が見込まれています。

平成28年度からは、第10次行財政改革大綱を定め、市民が住み続けたいと思えるまちであり続けるために、「協働によるまちづくりの推進」、「財政の健全化」、「行政経営改革の推進」を改革の柱に、目標設定による進行管理の徹底を図ります。

○行財政改革効果

(単位：千円、%)

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標額	181,159	179,997	252,709	205,815	203,409	281,495
実績額	230,837	381,003	445,573	332,956	363,262	—
達成率	127.4	211.7	176.3	161.8	178.6	—

○職員数の推移

(単位：人)

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
職員数	903	892	881	868	852	840

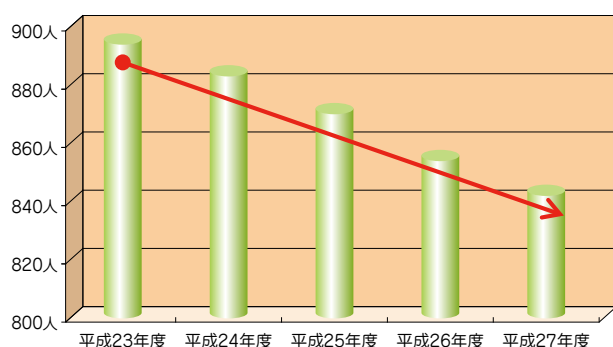
※各年度当初（4月1日）の職員数。平成27年度は見込み。

○市税の収納率の向上

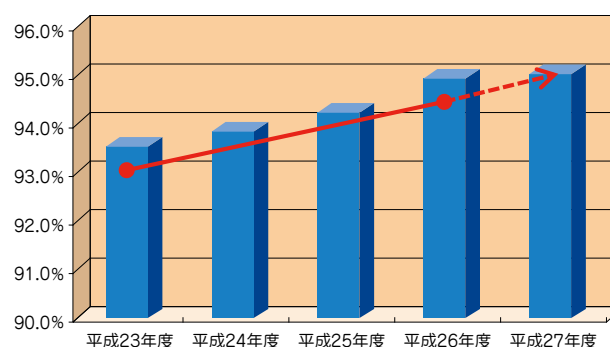
(単位：%)

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
収納率	93.1%	93.5%	93.8%	94.2%	94.9%	—

職員数の徹底した見直し



市税収納率の推移



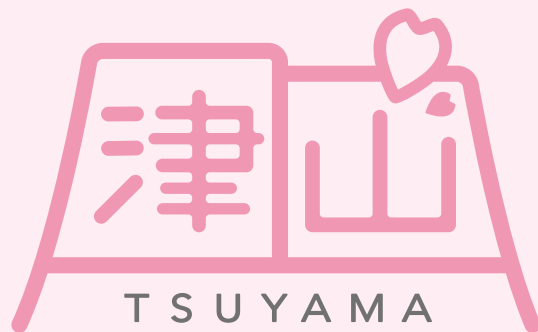
成果指標・目標値

開花プログラム	中分類	小分類	指標名	説明	現状値 (平成26年度)	目標値 (平成27年度)
I 子育て環境の充実と人と文化を育むまちづくり	1 子どもが健やかに育つために	1 妊娠・出産支援の充実	合計特殊出生率	一人の女性が一生に産む子どもの平均数	1.62 (平成25年)	1.72
		2 乳幼児保健の充実	乳幼児健診受診率	乳児健診、1歳6か月健診、3歳児健診の受診率	乳児健診 97.1% 1歳6か月健診 98.4% 3歳児健診 95.3%	乳児健診 100% 1歳6か月健診 100% 3歳児健診 100%
		3 幼児教育・保育の充実	教育・保育施設在園児数	教育・保育施設に入所する園児数	3,718人	3,650人
		4 子育て支援の充実	地域子育て支援センター等の利用親子数	子育て中の親子が交流する場に参加する親子数	13,185組	16,000組
	2 次代を担う子どものために	1 義務教育の充実	全国学力・学習状況調査における各科目の平均正答率	全国学力・学習状況調査における各科目の平均正答率 ※現状値()内の数値は岡山県平均正答率	小学校 国語A 70.2%(71.4%) B 49.7%(54.5%) 算数A 76.0%(77.8%) B 51.2%(56.6%) 中学校 国語A 75.6%(78.2%) B 44.0%(48.1%) 数学A 59.3%(65.4%) B 49.4%(55.9%)	岡山県平均を上回る
			問題行動など生徒指導上の諸問題に関する調査における発生率	問題行動など生徒指導上の諸問題に関する調査における発生率 ※暴力行為・いじめは1,000人あたりの発生件数	暴力行為 小 0.8件(2.1件) 中 15.1件(13.3件) いじめ 小 4.4件(4.0件) 中 7.2件(7.3件) 不登校 小 0.2%(0.5%) 中 1.8%(2.4%)	全国・岡山県平均を下回る
			教育支援計画の作成率	通常学級における支援が必要な児童・生徒の支援計画作成率	小学校 10.9% 中学校 5.5%	小・中学校ともに100%
		2 教育環境の充実	大規模改修した棟数	大規模改修により教育環境の改善が図れた校舎・屋内運動場などの棟数	0棟	69棟
		3 高等教育機関との連携	包括連携事業での取組事業数	美作学園・津山高専等と取り組んでいる事業数	17事業	30事業
		4 家庭・地域の教育力の充実	学校支援ボランティア登録者数	学校支援ボランティア登録者数	2,590人	3,100人
			授業以外で1日に30分以上読書をする児童(小6)の割合	児童(小6)の読書習慣の定着の割合	38.6%	50.0%
		5 青少年の健全育成	街頭指導した青少年の人数	青少年育成センター指導員が、街頭指導した青少年の年間の延べ人数	295人	200人
	3 心も体も元氣であるために	1 生涯学習の推進	公民館主催講座参加者数	公民館主催講座の参加者数	36,626人	42,000人
			図書館資料貸出冊数	図書館の延べ貸出冊数	625,691冊	665,000冊
		2 スポーツ活動の充実	社会体育施設の年間利用者数	社会体育施設を年間に利用する延べ人数	995,352人	1,100,000人
		3 芸術・文化活動の充実	津山市文化ホール等利用者数	文化ホール等を年間に利用する延べ人数	201,029人	230,000人
		4 国際交流・地域間交流の推進	国際交流サポートネット登録者数	通訳、生活支援など各分野で外国人をサポートするための登録者の数	62人	80人
	4 歴史・文化を守り伝えるために	1 歴史文化の継承と文化財の保存・活用	歴史文化施設の利用者数	市内の歴史文化施設を利用する年間延べ利用者数	167,844人	250,000人
			収蔵資料の数	市内の各施設での歴史収蔵資料の総数	82,602点	150,000点
	II 健やかで安心いねるまちづくり	1 誰もが健康で暮らせるために	1 医療体制の充実	救急搬送のうち、軽症者の割合	46.1%	40.0%
			2 健康づくりの推進	健康寿命	男 77.24歳 女 80.79歳 (平成22年度)	男 79.0歳 女 82.5歳
		2 支え合いのまちをつくるために	1 地域福祉の充実	避難行動要支援者名簿登録者数	551人	1,300人
				福祉避難所の協定数	16施設	25施設

開花プログラム		中分類	小分類	指標名	説明	現状値 (平成26年度)	目標値 (平成37年度)
Ⅱ	健やかで安心できる支え合いのまちづくり	2 支え合いのまちをつくるために	2 高齢者福祉の充実	小地域ケア会議の設置数	連合町内会の支部単位で、地域住民が専門職や行政などとともに、地域課題を検討し解決するための協議の場の設置数	14支部	44支部
				元気な高齢者の割合	高齢者のうち要介護認定を受けていない人の比率	78.7%	80.0%
			3 障害者福祉の充実	訪問・日中活動系サービスの実利用者数	障害者の地域社会における自立した生活を支援するサービスの実利用者数	812人 (9月分実績)	950人 (9月分実績)
				地域生活支援拠点・体制の整備数	障害者が地域生活へ移行するための相談や、緊急時の受け入れを行う拠点・体制の整備数	未整備	2ヶ所以上の整備
			4 低所得者福祉の充実	支援を受け就労した世帯数	就労により収入増や自立することができた生活保護・生活困窮者の世帯数	27世帯/年	50世帯/年
			5 国民健康保険事業の充実強化	特定健康診査・保健指導の受診率	特定健康診査・保健指導対象者に対する受診者の割合	特定健康診査 23.8% 特定保健指導 20.5%	特定健康診査 30.0% 特定保健指導 25.0%
				ジェネリック医薬品の利用率	薬剤総量に対するジェネリック医薬品の割合	26.7%	40.0%
		6 人権尊重・平和施策の推進と男女共同参画社会の実現	審議会などの女性委員の割合	政策・方針決定過程への女性参画の割合	27.6%	40.0%	
		3 市民が主役のまちをつくるために	1 地域活動の推進と地域力の強化	住民自治協議会設置数	概ね小学校区を単位とした地域の住民自治協議会の設置数	8地域	28地域
Ⅲ	雇用の創出につぎつぎのあるまちづくり	1 経済を発展させ働く場を維持するために	1 商業の振興と中心市街地の活性化	中心市街地の歩行者・自転車通行量	経年的にデータを計測している地点での休日・平日平均の通行量	8,773人/日	9,200人/日
			2 雇用の確保と定住推進	津山産業・流通センター立地率	分譲及びリース済み面積を全体有効面積で除したもの	60.5%	100%
				本市への県外からの移住者数	市の移住相談等による県外からの1Jターン決定者数	7人/年	90人/年
				新規学卒者の地域内就職者数	大学等と津山圏域内7高校の新規学卒者の地域内企業等就職者数	594人/年	700人/年
		3 工業の振興	市内製造業の従業者、出荷額等	市内製造業の従業者数と出荷額等	従業者数 5,880人 出荷額等 1,790億円	従業者数 6,500人 出荷額等 2,000億円	
		2 ずっと続けていける農林水産業のために	1 農業の振興	農地集積面積	所有、借入、農作業受託により利用している農地面積	913.9ha	1,385ha
				農業の担い手者数	効率的かつ安定的な農業経営及びそれを目指して経営改善に取り組む農業経営者数	233人	326人
				集落営農組織数	集落単位で農家が各自の農地を持ち寄り、共同で農機具を所有したり、農作業を行ったりする組織数	34組織	44組織
				農振農用地力パー率	農振農用地面積のうち多面的機能支払交付金事業に取り組む面積率	46.8%	55.5%
				地場産品の学校給食使用数量（契約出荷）	学校給食で使用する米、小麦粉、野菜等地場産品使用量	114t／年	200t／年
			2 林業の振興	新規植林面積	新規に植林をする森林面積	13ha	66ha
				林業従事者数	林業に従事する労働者数	222人(平成22年度)	260人
			3 農林業の高付加価値化	つやま和牛出荷頭数	肥育基金を活用したつやま和牛出荷頭数	0頭	330頭／累計
				小麦の作付面積 小麦粉市内消費量	津山産小麦の作付面積と小麦粉の市内消費量	77ha 15t／年	130ha 50t／年
				高品質地域乾燥材出荷量	品質・性能に優れた地域乾燥材出荷量	850㎡／年	1,275㎡／年
			4 水産業の振興	養殖魚種数	養殖が可能な魚種数	2種	5種

開花プログラム	中分類	小分類	指標名	説明	現状値 (平成26年度)	目標値 (平成37年度)
Ⅲ	魅力発信できるまちになるために	1 観光の振興	年間観光客入込数	市内の観光施設を訪れる観光客の入込数	180万人	250万人
			観光プログラムの開発数	点在する観光資源を組み合わせた「津山の楽しみ方」の観光プログラムの種類	観光プログラム数 15件	観光プログラム数 50件
Ⅳ	豊かな自然環境の保全と快適に暮らせるまちづくり	1 豊かな環境を次世代に残すために	市民協働発電所の設置数	市民からの出資や寄付によって整備した太陽光などの自然エネルギーによる市民協働発電所の数	0か所	6か所
			津山版カーボンオフセット商品数	本市で創出されたクレジットを活用して、環境貢献商品として付加価値をつけた津山産品の数	15品	25品
		2 心地よく生活するために	2 循環型社会の実現	市民1人1日当たりのごみ排出量	899g	872g
			1 生活環境の保全	空き家の除去等改善済み件数	7件	100件
				公害苦情件数	79件	63件
			2 公園整備と緑地保全	有料公園施設の利用者数	161,389人	210,000人
			3 水道の安定供給	水道の有収率	82.8%	90.0%
			4 下水道の整備	汚水処理人口普及率	68.3%	80.0%
			1 自然と調和した都市整備	中心市街地の歩行者・自転車通行量	8,773人/日	9,200人/日
				津山駅利用者の満足度	3.0 (5段階評価)	4.0 (5段階評価)
Ⅴ	災害への備えと都市機能の充実したまちづくり	1 快適な都市環境をつくるために	2 交通基盤の整備	都市計画道路の整備率	66.4%	75.0%
			3 公共交通網の充実	公共交通（バス）利用者数	(バス年度) 514,728人	(バス年度) 535,000人
				公共交通（JR）利用者数	JR津山駅の乗車者数	794,000人
			4 歴史まちづくりと景観の保全	城東・城西地区の観光入込客数	67,197人	114,000人
			5 居住環境の整備	住宅の耐震化率	73.4%	95.0%
		2 災害に強くなるために	1 防災体制の充実と防災意識の啓発	自主防災組織率	97.5%	100%
			2 災害予防と減災の推進	ポンプゲートの整備率	54.5%	81.8%
		3 安心して暮らせるために	1 防犯対策と消費者保護	防犯カメラの設置台数	111台	300台
				消費生活講座の参加人数	800人/年	1,300人/年
			2 交通安全対策の推進	交通事故件数	3,636件/年	2,900件/年
			3 演習場対策	日本原演習場周辺対策事業の道路整備率	44.0%	100%
開花プログラムの推進方策	1 効率的な市政を推進するために	1 共創・協働の推進	市民との協働の取組の数	市民と行政と一緒に取り組んだ事業の数	368事業	450事業
		2 津山の魅力発信	地域ブランド調査認知度順位	ブランド総合研究所「地域ブランド調査」認知度順位	588位 (1,000自治体中)	300位以内
		3 行財政改革と情報化の推進	経常収支比率	経常的な収入（市税、普通交付税など）に対する経常的な支出（人件費や施設管理費）の比率	91.5%	88.0%
	2 圏域の一体的な発展のために	1 広域連携の推進	定住自立圏の締結自治体数	定住自立圏形成協定の締結自治体数	0自治体	5自治体

暮らし、
ほんもの。



津山市第5次総合計画 前期実施計画

発行者：津山市総合企画部政策調整室

TEL：0868-32-2027

FAX：0868-32-2152

ホームページ： <https://www.city.tsuyama.lg.jp/>

印刷発行 平成28年3月